

ふくしまの森林文化調査カード

No.49

県 HP公開の可否 (  可 ・  否 )

区 分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 <b>6. 森の風景</b>
分野(ふりがな)	(分野) ブナ	(ふりがな) ぶな	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	福島県のブナ林(ふくしまの森林をつくる樹木)		
伝承地域	県内各地域		
由来(年代)	ブナは日本の温帯落葉広葉樹林を代表する樹種である。日本のブナ属化石は漸新世以降の地層から産出する。磐梯町法正尻湿原では12,000年前頃からブナ属の花粉化石が出現し始めている。福島県では標高およそ400～1,500mの所に生育し、しばしばブナの純林を作っている。樹高は約30mに達し、樹皮はつるつるして明るい灰色、しばしば地衣類の着生によって斑紋ができる。		
内容	福島県では県内各地でブナ林を見ることができるが、とりわけ原生的で広大なブナ林は会津地方に多い。南会津郡只見町では、浅草岳東方の沼ノ平や田子倉湖周辺、黒谷川上流域、布沢から昭和村にかけての境界域に広く分布している。中でも越後三山只見国定公園及び只見柳津県立自然公園内には約24,000haのブナ原生林がある。この規模はユネスコの世界自然遺産に登録されている白神山地中心部のブナ林面積約17,000haを凌ぐ。只見町布沢のブナ林「恵みの森」は、郷土の自然のシンボルとして林野庁の“郷土の森”に指定され保護されている。		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	—		
文化財等の指定状況	只見町布沢のブナ林「恵みの森」…“郷土の森”指定(林野庁)		
問い合わせ先	福島県立博物館(Tel:0242-28-6000) 只見町教育委員会(Tel:0241-82-5320)		

【フリーフォーマット】

キーワード

博士山山頂のブナ林(柳津町)



緑の森に指定されている“恵みの森“(只見町布沢)



志津倉山のブナ(三島町)



雪食地形急斜面化のブナ林限界(只見町)

ブナ幼樹の密集区(喜多方市)